

# 洛窓会 東京支部活動状況

令和6年度 東京支部代表幹事 東洋エンジニアリング株式会社 吉本 憲司 (55回卒)

## 令和6年度 東京支部総会報告

### 1. 開催概況

日時:2024年7月1日(月)16:00~20:00

場所:住友会館 (泉ガーデンタワー42階)

出席者数:総会 56名 / 懇親会 55名



泉ガーデンタワー外観

### 2. (第一部) 総会



総会の様子

#### 2-1. 洛窓会東京支部長挨拶

住友化学株式会社 代表取締役副社長 上田 博 様

コロナウイルス感染症の終息に伴い、多くの対面参加者を迎えることができたことに、深く感謝の意を表明された。また、本総会に出席していた最年長および最年少の卒業生を紹介し、京都大学化学工学科の卒業生が世代を超えてつながりを強め、今後の活躍が期待されることを述べられた。



#### 2-2. 会計報告

東洋エンジニアリング株式会社 吉本 憲司

昨年度および今年度(7月1日現在)の会計報告を説明し、昨年度からの繰越金を活用することで次年度も同程度の繰越金を維持する見込みであることを報告し承認された。

#### 2-3. 講演会

##### 講演1「資源との新しい付き合い方

～SHIの脱炭素技術～

住友重機械工業株式会社 エネルギー環境事業部長  
執行役員 加藤 洋一 様



「資源との新しい付き合い方」というタイトルにて、住友重機械工業の脱炭素関連技術の紹介および脱炭素におけるバイオマス活用について、加藤様よりご講演をいただいた。脱炭素社会を実現するためには、エコシステムのギャップを埋める

技術の提供が重要であり、住友重機械工業ではギャップを埋める技術として再生可能エネルギーの燃焼・発電技術、CO2分離回収技術および長期蓄電システムに積極的に取り組んでいる点について詳しくご説明があった。また、技術開発のためには新事業の重要性を理解することが重要であり、事業面および経営基盤強化の観点から組織として求められる事項についても詳細が述べられた。既存事業と新事業とのシナジーは現在多くの企業が直面している課題であり、加藤様のご講演に対して多くの質疑応答がなされた。

##### 講演2「京都大学と化学工学教室の近況」

京都大学 工学研究科 化学工学専攻  
外輪 健一郎 教授



外輪先生より、現在の京都大学の様子、化学工学教室の状況、桂キャンパスの近況についてご講演いただいた。化学工学教室については、年間スケジュール、各研究室の紹介、ドルトムント大学との交流、学生の就職先など多岐にわたりご説明いただき、理工化学科(旧工業化学科)の中でも化学工学教室の人気の高いこともご紹介があった。桂キャンパスの設備が年々充実している点についても講演の中で触れられ、吉田キャンパスで研究生を送られていた年配の卒業生は関心を持って講演に関

き入っていた。

### 2-3. 洛窓会会長ご挨拶



洛窓会会長  
長谷部 伸治 名誉教授

洛窓会会長として、長谷部名誉教授より、講演者の皆様、参加各位および運営関係者への謝意が述べられた。また、今後も気軽な同窓会の形で東京支部総会が継続されていくことへの期待の言葉もいただいた。

## 3. (第二部) 懇親会

### 3-1. ご挨拶、乾杯

東京支部副支部長 / 株式会社神戸製鋼所  
顧問 森崎 計人 様



懇親会は、東京支部副支部長である株式会社神戸製鋼所 森崎様のご挨拶と乾杯のご発声により開会した。森崎様からは、今後も世代間交流を続けていきたい旨ご説明があり、参加者一同に対する期待の言葉が述べられた。その後、各テーブルごとに自己紹介を行いながら懇親会が開始され、和やかな雰囲気の中で交流が深められた。

### 3-2. 懇親会

新型コロナが5類相当に分類されたことを受け、昨年に引き続き懇親会は立食形式とした。



### 3-3. 次年度代表幹事ご挨拶

日揮グローバル株式会社  
執行役員 齊藤 傑 様

懇親会の終盤にて、次年度幹事会社・日揮グローバル株式会社の齊藤様からご挨拶をいただいた。齊藤様は、前回幹事会社を務めた10年前の思い出を振り返りつつ、来年度の代表幹事を務めるにあたっての抱負を述べられた。また、次年度の東京支部総会および懇親会への参加を呼びかけられた。

### 3-4. 中締めご挨拶

洛窓会幹事長 河瀬 元明 教授

続けて、中締めのご挨拶を洛窓会幹事長である河瀬先生よりいただいた。



日揮グローバル株式会社  
齊藤 傑 様



洛窓会幹事長  
河瀬 元明 教授

### 3-5. 「琵琶湖周航の歌」合唱

最後に、全員で「琵琶湖周航の歌」を合唱し、締めとした。



## 4. 総評

新型コロナの収束を受け、オンラインを廃止し対面のみとした総会であったが、年代を問わず多くの方にご参加いただき、盛会の内に終えることができた。支部幹事会社である日本製鉄株式会社及び住友化学株式会社から多くの助言を得て、設営、案内、受付業務などの事前準備および進行を行った結果、無事に終えることができた。

## 5. 謝辞

ご多用の中、大変示唆に富んだご講演をご準備いただいた加藤様、外輪教授に心よりお礼を申し上げます。また、支部総会の開催にあたり、洛窓会本部の諸先生方、支部幹事会社代表の方々に多大なご助力・アドバイスを頂戴しましたこと、心より御礼申し上げます。

以上